

	発行: 福山平成大学 F D 推進委員会 〒720-0001 広島県福山市御幸町 上岩成正戸 117-1 084 (972) 5001 (代) fd@heisei-u.ac.jp
--	--

目 次

授業公開 アクティブラーニング実地見学会	1
経営学科「マーケティング」(経営学科 兎内祥子助教)	
FD 研修会報告 ～京都産業大学総合政策学部生命システム学科教授 佐藤賢一先生をお迎えして～ 「初年次教育と質問駆動型学習ハテナソン 京都産業大学の取り組み」	2
FD 講習会報告「実用統計講座」(経営学科 福井 正康 教授)	3
平成 30 年度学生による授業アンケート調査結果	4～8
平成 29 年度後期授業改善案報告	9
平成 30 年度前期授業改善案報告	10
FD 関連図書コーナー新着案内	11
平成 30 年度 FD 推進委員会活動記録	12

アクティブラーニング実地見学会

本学の FD 活動としてアクティブラーニングを取り入れた授業の見学会を 5 月 22 日(火)に開催しました。

今回は、兎内祥子助教が担当する経営学科の専門科目「マーケティング」の授業を見学させていただきました。この科目では、福山市内の有限会社池口精肉店様の協力を得て、新商品のネーミングを考えるという企画に参加し、「ブランドとブランディング」について学ぶというユニークな授業を行っています。



当日は、最初に兎内先生による「ブランディング」についての今までの講義のまとめの説明があり、続いて、(有)池口精肉店の池口企画室長によって会社の概要と今回の企画である新商品(ソーセージカツ)

のネーミング募集についての説明がなされました。後半はグループに分かれて、実際のネーミングを考える作業を行いました。その際、池口企画室長から新商品が配られるというすてきなサプライズがあり、学生たちには試食する機会が与えられました。ただ、ネーミングを考えるグループワークでは、各グループともかなり苦勞している様子がうかがえました。次回の授業でグループごとに考えをまとめて、提出する予定だということでした。

20名ほどの教員や大学院の学生が参加し、市内の企業とコラボして授業を行うという貴重な機会を見学することができました。

平成30年度FD研修会報告

「初年次教育と質問駆動型学習ハテナソン 京都産業大学の取り組み」

京都産業大学 総合生命科学部生命システム学科
教授 佐藤賢一氏

10月4日（木）に京都産業大学の佐藤賢一先生（総合生命科学部生命システム学科教授）を講師にお招きして、FD研修会を開催しました。佐藤先生は、長らく京都産業大学の教育支援研究開発センター長をなされ、初年次教育やFD研修の責任を持っておられた方です。先生が主に開発された「質問駆動型学習ハテナソン」と呼ばれるグループワーク等で使用できる活動を実際にグループに分かれて体験的に学ぶことができました。この活動はどの科目や領域でも使える、汎用性の高い方法です。この活動をグループワークで行うと、学生たちが自然に授業内容に関心を持てるようになるということです。参加した多くの教員から、「参考になった」という言葉がアンケートを通して聞かれました。FD推進委員会では、今後も教育の現場で参考になる研修を続けていきたいと考えております。



平成 30 年度 F D 講習会報告

実用統計講座

経営学科 福井 正康 教授

平成 30 年 8 月 21 日から 23 日と 9 月 12 日に F D 講習会「実用統計講座」を経営学科の福井正康教授の指導のもとに開きました。4 日間で述べ 35 名の方が参加されました。

この講習会は、授業改善と研究のために毎年、福井先生にお願いして実施しているもので、今年で 11 年目になります。初日はデータの集計と検定についての基礎統計、二日目は多変量解析の初級編、三日目は多変量解析の中級編、そして四日目は統計分析に利用される計算法についての考え方を学びました。



平成30年度 学生による授業アンケート調査結果

1. 調査概要

(1) 実施期間

前期：平成30年7月16日（月）～8月 4日（土）

後期：平成31年1月16日（水）～2月 14日（木）

(2) 対象科目

演習・実習等の科目を除く、全科目（履修者数5名未満の科目を除く）

(3) 実施科目数

前期：302科目

後期：287科目

(4) 実施方法

- 学修支援システム・セLESSを用いて、授業時間内に教員の指示に従って、学生が各自スマートフォンなどを通じて回答する。
- アンケート集計結果は、科目毎に科目担当教員に返却。大学全体、学部・学科、学年別の集計結果は、各学部、学科に配布するとともに当FDニュースレター等で公表する。

(5) 設問

<授業に関する設問>

Q1-1. この授業の履修の決定や学修する際に、シラバス（授業概要）を読んだ

Q1-2. シラバス（授業概要）は、この授業の学修に役立った

Q1-3. シラバス（授業概要）の到達目標を達成できた

Q2. 受講にあたって、学修到達目標や注意事項などの説明・指導は、適切だった

Q3. この授業の進度は、適切だった

Q4. 教員の話し方は、聞き取りやすかった

Q5. 板書や視聴覚機器は、見やすかった（聞きやすかった）

Q6. 教員の説明・指導は、わかりやすかった

Q7. 教室や実習・実技の環境・設備などは、適切だった

Q8. この授業は、有意義だった

<学生の受講態度に関する設問>

Q9. この授業にきちんと出席した

Q10. 受講マナー（遅刻・早退、私語など）は守れた

Q11. 予習・復習・課題提出など、この授業に熱心に取り組んだ

Q12. この授業に対する1回あたりの平均勉強時間

(5) 回答方法

5段階評価 5：よくあてはまる

4：ややあてはまる

3：どちらともいえない

2：あまりあてはまらない

1：全くあてはまらない

（Q12. については、5：60分以上、4：60分未満、3：30分未満、
2：15分未満、1：全くしなかった）

(6) その他

科目担当教員の自由設問および自由記述欄あり。

2. 大学全体の結果

(上段：前期 下段：後期)

	5. よくあてはまる	4. ややあてはまる	3. どちらでもない	2. あまりあてはまらない	1. 全くあてはまらない	平均値
Q1-1 シラバスを読んだ	29%	31%	26%	7%	7%	3.69
	33%	32%	24%	5%	7%	3.88
Q1-2 シラバスが役に立った	29%	31%	31%	6%	4%	3.74
	33%	31%	27%	4%	5%	3.84
Q1-3 到達目標を達成した	28%	31%	34%	4%	3%	3.78
	33%	32%	28%	3%	3%	3.88
Q2 到達目標・注意事項の説明	44%	34%	18%	3%	1%	4.17
	46%	33%	16%	3%	2%	4.19
Q3 授業の進度	50%	33%	13%	3%	1%	4.28
	52%	31%	13%	3%	1%	4.30
Q4 教員の話し方	53%	30%	12%	4%	1%	4.29
	54%	29%	12%	3%	2%	4.30
Q5 板書・視聴覚機器	51%	30%	13%	5%	2%	4.18
	51%	30%	14%	4%	2%	4.26
Q6 教員の説明・指導	51%	31%	14%	3%	1%	4.26
	52%	30%	13%	4%	2%	4.27
Q7 教室の環境・設備・機材	54%	30%	13%	3%	1%	4.32
	53%	30%	13%	3%	1%	4.30
Q8 授業は有意義だった	53%	30%	13%	3%	1%	4.30
	54%	30%	12%	3%	1%	4.32
Q9 出席状況	69%	22%	6%	2%	0%	4.57
	66%	24%	8%	2%	0%	4.53
Q10 受講マナー	68%	23%	7%	2%	0%	4.50
	63%	26%	8%	2%	0%	4.50
Q11 授業への取り組み	51%	28%	15%	4%	2%	4.23
	50%	28%	15%	4%	2%	4.19
Q12 平均勉強時間	26%	21%	20%	14%	19%	3.21
	25%	20%	20%	14%	20%	3.16

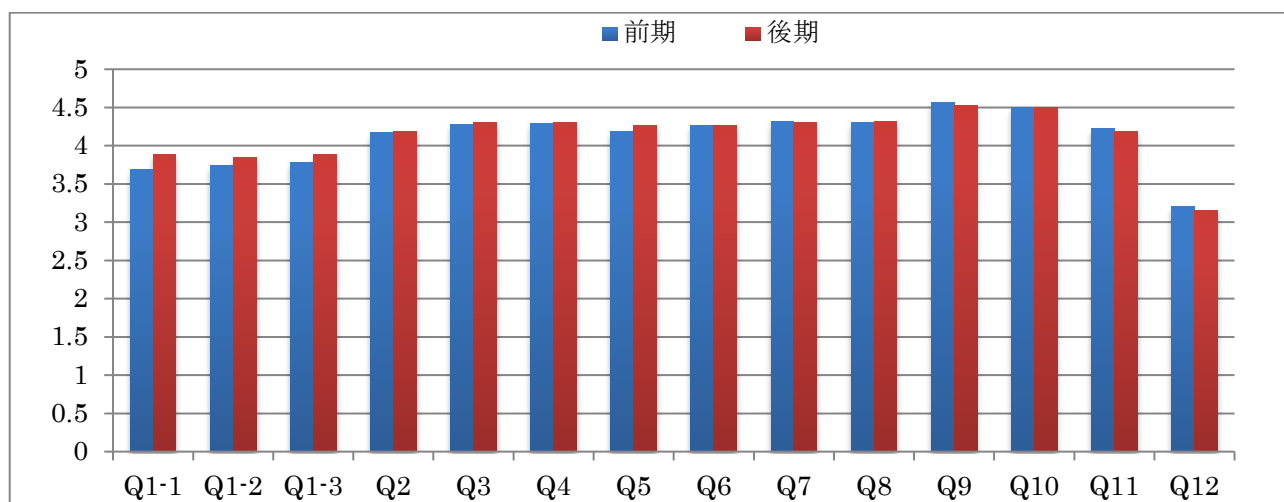


図1 大学全体の結果（平均値）

3. 学年別の平均値

(上段：前期、下段：後期)

	1年	2年	3年	4年	全体
Q1-1 シラバスを読んだ	3.49	3.84	3.86	3.40	3.65
	3.63	3.97	3.88	3.60	3.77
Q1-2 シラバスが役に立った	3.53	3.89	3.90	3.60	3.73
	3.69	4.00	3.89	3.75	3.83
Q1-3 到達目標を達成した	3.56	3.95	3.91	3.67	3.77
	3.73	4.03	3.93	3.87	3.89
Q2 到達目標・注意事項の説明	4.05	4.26	4.22	4.21	4.19
	4.07	4.28	4.23	4.37	4.24
Q3 授業の進度	4.19	4.36	4.32	4.27	4.29
	4.21	4.39	4.32	4.50	4.36
Q4 教員の話し方	4.20	4.36	4.36	4.28	4.30
	4.20	4.39	4.30	4.56	4.36
Q5 板書・視聴覚機器	4.16	4.28	4.33	4.23	4.25
	4.16	4.34	4.29	4.52	4.33
Q6 教員の説明・指導	4.16	4.33	4.34	4.27	4.28
	4.18	4.34	4.31	4.62	4.36
Q7 教室の環境・設備・機材	4.22	4.41	4.38	4.27	4.32
	4.21	4.39	4.32	4.40	4.33
Q8 授業は有意義だった	4.16	4.39	4.39	4.30	4.31
	4.20	4.42	4.35	4.58	4.39
Q9 出席状況	4.65	4.65	4.61	4.28	4.55
	4.60	4.61	4.31	4.36	4.47
Q10 受講マナー	4.55	4.61	4.55	4.32	4.51
	4.49	4.57	4.35	4.37	4.45
Q11 授業への取り組み	4.07	4.35	4.33	3.98	4.18
	4.12	4.30	4.13	4.01	4.14
Q12 平均勉強時間	2.89	3.43	3.48	3.02	3.21
	3.05	3.38	2.81	3.26	3.13

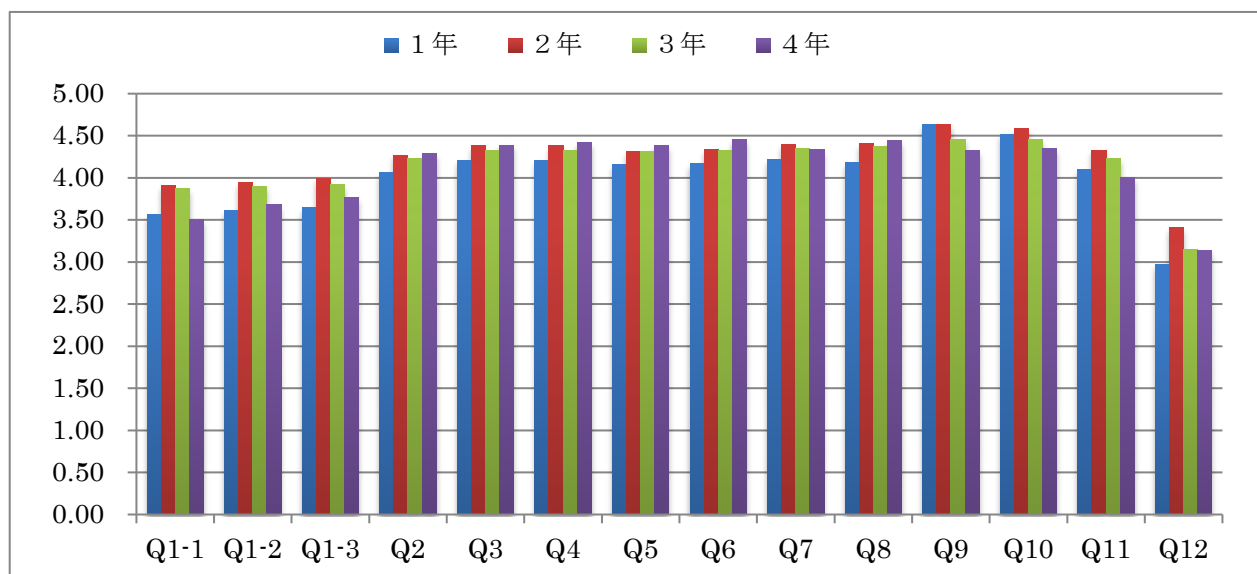


図2 学年別の平均値（30年度前後期平均）

4. 学科別の平均値

(上段：前期、下段：後期)

	経営	福祉	こども	健康スポーツ	看護
Q1-1 シラバスを読んだ	3.82	3.68	3.33	3.65	3.81
	3.86	3.92	3.40	3.72	4.04
Q1-2 シラバスが役に立った	3.87	3.77	3.38	3.71	3.84
	3.84	4.04	3.46	3.77	4.04
Q1-3 到達目標を達成した	3.83	3.75	3.46	3.77	3.88
	3.80	4.00	3.54	3.83	4.09
Q2 到達目標・注意事項の説明	4.18	4.28	3.94	4.12	4.24
	4.24	4.34	4.01	4.12	4.28
Q3 授業の進度	4.32	4.35	4.12	4.23	4.34
	4.37	4.45	4.18	4.27	4.33
Q4 教員の話し方	4.31	4.38	4.14	4.26	4.35
	4.38	4.46	4.20	4.28	4.29
Q5 板書・視聴覚機器	4.28	4.30	4.10	4.18	4.31
	4.35	4.39	4.13	4.23	4.27
Q6 教員の説明・指導	4.29	4.29	4.10	4.23	4.32
	4.31	4.42	4.14	4.26	4.28
Q7 教室の環境・設備・機材	4.29	4.34	4.19	4.25	4.42
	4.36	4.40	4.19	4.26	4.36
Q8 授業は有意義だった	4.25	4.35	4.13	4.26	4.38
	4.34	4.47	4.18	4.29	4.37
Q9 出席状況	4.35	4.53	4.60	4.50	4.82
	4.29	4.55	4.58	4.44	4.82
Q10 受講マナー	4.42	4.46	4.44	4.48	4.73
	4.35	4.45	4.40	4.40	4.75
Q11 授業への取り組み	4.03	4.94	4.02	4.16	4.43
	4.07	4.15	4.07	4.06	4.48
Q12 平均勉強時間	2.85	3.14	2.99	2.79	3.71
	2.88	3.37	2.99	2.77	3.79

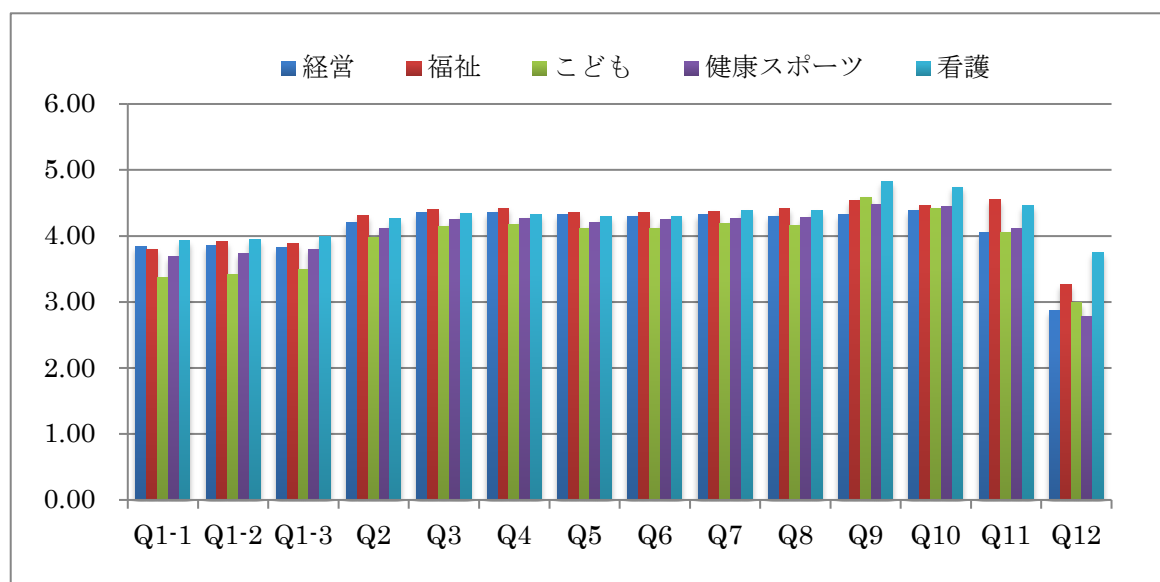


図 3 学科別平均値 (30 年度前後期平均)

5. 最近3年間の平均値の推移

	28年度		29年度		30年度	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期
Q1-1 シラバスを読んだ	3.48	3.65	3.66	3.73	3.69	3.80
Q1-2 シラバスが役に立った	3.51	3.68	3.70	3.80	3.74	3.84
Q1-3 到達目標を達成した	3.55	3.71	3.75	3.85	3.78	3.88
Q2 到達目標・注意事項の説明	3.92	4.03	4.12	4.17	4.17	4.19
Q3 授業の進度	4.09	4.14	4.24	4.28	4.28	4.30
Q4 教員の話し方	4.10	4.15	4.22	4.27	4.29	4.30
Q5 板書・視聴覚機器	4.03	4.09	4.18	4.22	4.24	4.26
Q6 教員の説明・指導	4.06	4.10	4.19	4.23	4.26	4.27
Q7 教室の環境・設備・機材	4.09	4.15	4.24	4.29	4.32	4.30
Q8 授業は有意義だった	4.12	4.17	4.24	4.29	4.30	4.32
Q9 出席状況	4.53	4.45	4.58	4.53	4.63	4.57
Q10 受講マナー	4.44	4.42	4.50	4.50	4.57	4.50
Q11 授業への取り組み	3.95	4.09	4.14	4.18	4.23	4.19
Q12 平均勉強時間	3.12	3.13	3.17	3.18	3.21	3.16

6. 一般、専門、教職科目別の平均値（30年度前後期平均）

	一般科目	専門科目	教職科目
Q1-1 シラバスを読んだ	3.56	3.82	3.69
Q1-2 シラバスが役に立った	3.62	3.86	3.76
Q1-3 到達目標を達成した	3.66	3.89	3.87
Q2 到達目標・注意事項の説明	4.06	4.23	4.12
Q3 授業の進度	4.22	4.34	4.14
Q4 教員の話し方	4.20	4.34	4.13
Q5 板書・視聴覚機器	4.18	4.29	4.06
Q6 教員の説明・指導	4.18	4.31	4.09
Q7 教室の環境・設備・機材	4.22	4.36	4.22
Q8 授業は有意義だった	4.17	4.37	4.17
Q9 出席状況	4.55	4.61	4.64
Q11 授業への取り組み	4.04	4.24	4.28
Q12 平均勉強時間	2.69	3.35	3.38

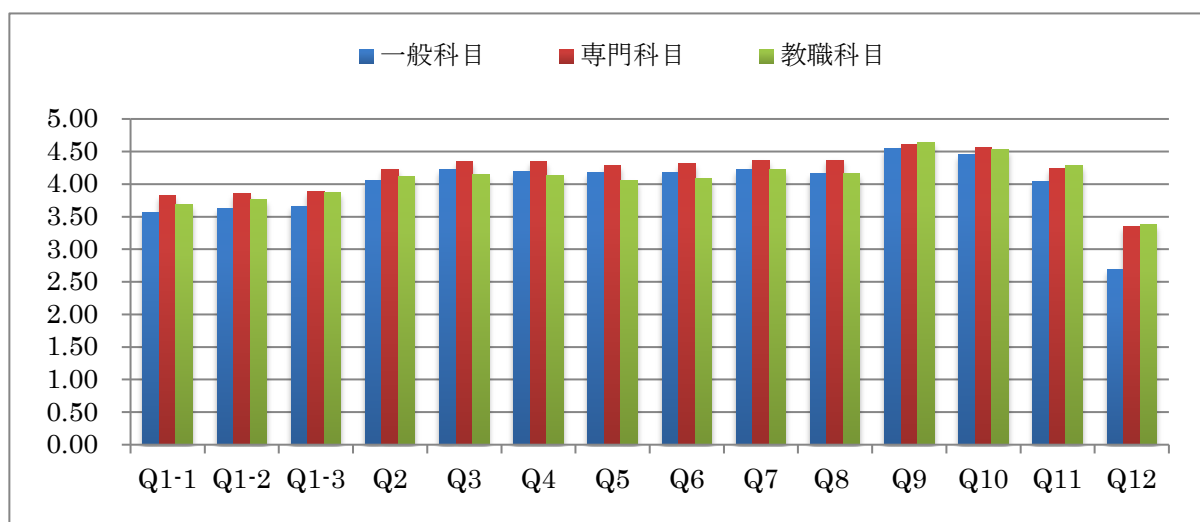


図4 各科目の履修者数別の平均値 (30年度前後期平均)

授業改善案について

毎回、授業アンケートの結果や学生からのコメントを基にして先生方には改善案を考えていただいています。その概要を3つに分類した形でまとめたものが以下のものです。昨年度（平成29年度）の後期と今年度前期の分を記載しました。

平成29年度後期授業改善案報告

改善案総数：66

分類（教員ごとではなく、改善案の項目による分類）

1. 一般的に参考になるもの 39
2. 特定の科目を対象としているが、一般的にも参考になるもの 50
3. 特定の科目を対象とした改善案 5

上記「1」と「2」をテーマ別に分類（教員ごとではなく、改善案の項目による分類）

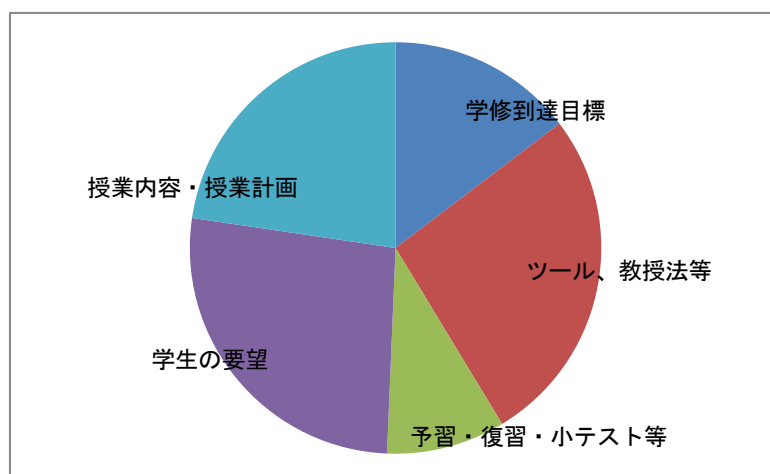
※「2」に関しては、一般的に参考になる内容のみを科目名など科目内容がわかる語句は削除して記載

1. 学修到達目標に関して 11
2. 具体的なツールや教授法 20
3. 予習、復習、小テスト等 7
4. 学生の要望 20
5. 授業内容・授業計画 17

平成29年度後期授業アンケート改善案まとめ

改善案テーマ別	実数	%
学修到達目標に関して	11	15
具体的なツールや教授法	20	27
予習・復習・小テスト等	7	9
学生の要望	20	27
授業内容・授業計画	17	23

平成29年度後期授業改善案テーマ別



平成30年度前期授業改善案報告

改善案総数 62

1. 一般的に参考になるもの・・・19
2. 特定の科目を対象としているが、一般的にも参考になる部分もあるもの・・・21
3. 特定の科目に関するもの・・・22

上記「1」と「2」を次のテーマ別に分類（各教員の改善案をテーマ別に分けている場合もある）

※「2」は、一般的に参考になる内容を抜粋し、科目名などは削除した。

テーマ別

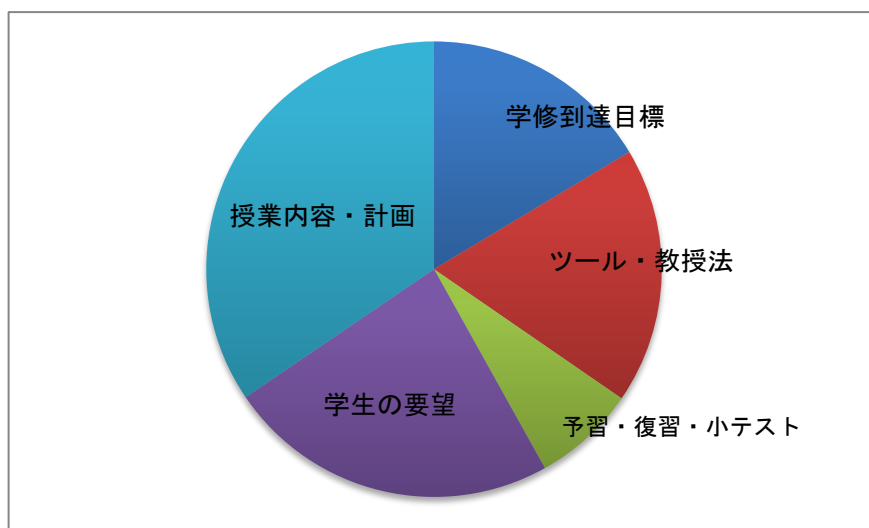
1. 学修到達目標に関して・・・9
2. 具体的なツールや教授法・・・10
3. 予習、復習、小テスト等・・・4
4. 学生の要望について・・・13
5. 授業内容・授業計画・・・19

合計 55

テーマ別改善案まとめ

テーマ	%
学修到達目標に関して	16.4
具体的なツールや教授法	18.2
予習・復習・小テスト等	7.3
学生の要望について	23.6
授業内容・授業計画	34.5

平成30年度前期授業改善案テーマ別



F D 関連図書コーナー新着案内

本学図書館 1 階の参考図書架に設置されている「F D 関連図書コーナー」では、毎年多数発刊される国内の F D 関連図書の中から、特に有用なものを選定・購入し、蔵書を充実させています。

今年度新たに購入した図書の主なものは、次の通りです。自由に閲覧、貸し出しができますので、多数の方のご利用をお待ちしております。

書 名	著 者 名
よくわかる！大学における障害学生支援	竹田一則
進化する初年次教育	初年次教育学会（編集）
どうすれば協働学習がうまくいくか：失敗から学ぶピア・リーディング授業の科学	石黒圭（著、編集）
回想 自主協働学習によるアクティブラーニングの開発	高旗正人
学修成果への挑戦―地方大学からの教育改革	濱名 篤
大学初年次における日本語教育の実践：大学における学習支援への挑戦 3	仲道雅輝
大学教育における教員の省察：持続可能な教授活動改善の理論と実践	大山牧子
京都大学の経営学講義 III：経営者はいかにして、企業価値を高めているか	川北英隆（著、編集）
< 5 号 > 特集 アクティブラーニングを大学から社会へ（主体的学び）	主体的学び研究所
これからの「教育」の話をしよう 4 教育改革 X 大学広報力	学校広報ソーシャルメディア活用勉強会
キャリア形成支援の方法論と実践	菅原 良
子どもの貧困問題と大学の地域貢献	嘉納英明
七転八起 学びを回避する学生の理解と支援	鈴木賢治
大学授業改善とインストラクショナルデザイン（教育工学選書 II）	日本教育工学会（監修）
大学と社会をつなぐライティング教育	村岡貴子（編集）
21 世紀の大学：職員の希望とリテラシー	寺二昌男
生き残りをかけた大学経営の実践―消えゆく大学にならないために	岩田雅明
EdTech が変える教育の未来	佐藤昌宏

平成30年度FD推進委員会活動記録

平成30年 5月8日	平成30年度 第1回委員会 議題 1) 平成29年度活動予定 2) その他
5月22日	平成30年度授業公開 アクティブラーニング実地見学会 経営学科「マーケティング」 経営学科 兎内祥子助教
7月16日～8月4日	学生による授業アンケート調査（前期）
9月18日	平成30年度 第2回委員会 議題 1) FD研修会について 2) 前期授業アンケートの結果について
8月21日～9月12日	平成30年度 FD講習会「実用統計講座」 講師 経営学科 福井 正康 教授
10月4日	平成30年度 FD研修会I 「初年次教育と質問駆動型学習ハテナソン 京都産業大学の取り組み」 京都産業大学 総合生命科学部生命システム学科教授 佐藤賢一先生
平成31年 1月16日～2月14日	学生による授業アンケート調査（後期）
3月8日	平成30年度 第3回委員会 議題 1) 後期授業アンケートの結果について 2) その他
3月	FD関連図書コーナー（図書館）蔵書追加
3月31日	FDニューズレター第15号発行

編集後記 FDニューズレター第15号をお届けいたします。大学の新入試制度が2021年から始まるなど、大学教育も一つの変節の時期を迎えている状況の中、大学の授業においても時代や制度に則した新たな取り組みが必要とされています。FD推進委員会としてもそのような大学教育の新たな流れについての情報を幅広く収集しながら、先生方の参考になるような活動をしていければと考えております。今後ともよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、皆様の今年度のご協力を心から感謝申し上げます。（KW）